

2019年1月9日(水)

**日本の筆記具技術を知る「モノづくりインターンシップ」を栃木県で開催
マッキー・サラサなどを生産する国内唯一の工場で、ボールペンの組み立て体験
2019年2月7日・8日開催 60人の参加学生募集**

ゼブラ株式会社(本社:東京都新宿区/代表取締役社長:石川 真一)は、2月7日と8日に、栃木県野木町にある自社工場で、筆記具の技術を学ぶ体験型ワンデーインターンシップを理系の学生向けにおこないます。

▼背景

日本の筆記具は、なめらかな書き味やインク色の多彩さ、ちょっとした使い勝手の工夫など、その高い品質が国内のみならず、海外でも人気の商品です。筆記具には様々な材料からインクを合成する化学の知識や、生産のための機械工学など高度な技術が必要です。また、最後まで途切れずに安定して書ける品質を保つため、国内で販売するゼブラの筆記具のほとんどは栃木県の自社工場で生産しています。

しかし化学や機械工学を専攻する学生には、食品や自動車などの業界と比べて、筆記具業界が大学で学んだ知識を十分に活かせる仕事であることがあまり知られていません。

そこでゼブラでは、学生に筆記具業界への興味を持ってもらうため、マッキーやサラサといった学生にとっても身近な商品が生産される現場で、筆記具の技術や、モノづくりの楽しさを知ってもらうためのインターンシップをおこないます。各回1日だけの開催ですが、理解を深めてもらうための体験型のプログラムとしています。

▼「ゼブラ モノづくりインターンシップ」概要

日時:2019年2月7日(木)・8日(金)

場所:栃木県下都賀郡野木町野木 140 ゼブラ野木工場

対象:理系の学部の大学生・大学院生

プログラム:

1、工場見学:小さなボールから1本のペンが完成するまでの全工程を学ぶ。

(数ミクロン単位で加工されるペン先切削技術やインクの研究、自動組立機械の設計や運用など)

2、インキング体験:ボールペンの中芯に手作業でインクを注入する。

(ゼブラ独自の香り付きジェルインク10種類から好きなインクを選び、自分で中芯に注入する)

3、ペンの組み立て体験:工場見学で学んだ知識を活かし実際にペンを組み立てる。

(パーツごとに10色ずつある部品を選び手で一つ一つ組み立てて自分だけのオリジナルペンを作る)



ゼブラ野木工場



ペンのインク注入体験



ジェルボールペン「サラサクリップ」



オリジナルペンの組み立て体験

2~3で作るボールペンは、ゼブラの主力商品「サラサクリップ」です。ジェルインクのなめらかな書き味と全51色のバリエーションが受けて国内外で累計5億本以上を販売しています。数量限定で発売する香り付きインクのサラサクリップは特に女子中高生に人気です。

▼報道関係の方のお問い合わせ先
ゼブラ株式会社 広報室:池田・鈴木
TEL:03-3268-1228
e-mail:tikeda@zebra.co.jp / ysuzuki@zebra.co.jp

▼学生の方のお問い合わせ先
ゼブラ株式会社 インターンシップ担当
TEL:03-3268-1194
e-mail:internship@zebra.co.jp
応募サイト [マイナビ 2020] 締切 1/19→

